

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名		トップダウン型国際脳循環の推進		担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局		作成責任者		
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(研究環境担当)		松木 秀彰		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	重要分野(※)において我が国と欧米等先進国(同盟・同志国)のトップ研究者同士を国際共同研究を通じて結び付け、次の先端技術をリードする研究を行い、最先端の分野や技術開発につながる情報にアクセスし、我が国の次世代のトップ研究者を育成する。我が国が世界の流れから取り残されない構造的仕組みを構築し、科学技術力の維持・向上を図る。 ※CSTI主導で国内トップ研究者や在外公館の科学技術フェロー等の情報を元に、注力すべき国・地域や「分野」を設定。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	我が国資金配分機関(JST等)と同盟・同志国の資金配分機関(EU Horizon、米NSF、英UKPI等)とのJoint Call/Joint Fundingによる国際共同研究を推進する。国際共同研究はチーム対チームで行い、日本チームのPIには、若手研究者を相手国雇用(武者修行)で送ることや、大胆な給与水準で内外の優秀人材を雇用することを義務付ける。上記が重要分野のうちディープテック系スタートアップの勝ち筋分野において効果的に機能することを検証するフィージビリティスタディとして実施する。※JST等資金配分機関への予算移し替えを想定。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-	0		事項要求	
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	0		事項要求	
	執行額	0	0	0					
	執行率(%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-						
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	-	0	事項要求						
	計	0	事項要求						
活動内容(アクティビティ)	我が国の資金配分機関と先進国の資金配分機関との国際共同研究を推進。 外国のトップ研究チームに我が国の若手研究者の派遣を強力に推進するとともに、我が国のトップ研究チームに外国の優秀な若手研究者を呼び込むことで、研究ネットワークの構築と人材育成を推進。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	今後の予算編成過程等を通じて検討	今後の予算編成過程等を通じて検討	活動実績	-	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	今後の予算編成過程等を通じて検討			単位当たりコスト	-	-	-	-	
				計算式	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
	今後の予算編成過程等を通じて検討	今後の予算編成過程等を通じて検討	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	政策評価書		-				
			URL		-				
	施策	該当箇所		-					
		分野:	-						
取組事項	(新経済・財政再生計画改革工程表 2021)								
	URL:								
該当箇所									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国の国際共著論文数の伸び率が主要国と比べ相対的に低いなど、国際的な研究コミュニティにおける存在感が低下している中、本事業が目的とする我が国と先進国のトップ研究者同士を国際共同研究を通じた研究ネットワークの構築と人材育成は、第6期科学技術・イノベーション基本計画において、活力ある研究開発のための必須条件として位置付けられているため、国民や社会のニーズを適切に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国際的な研究ネットワークの構築と人材育成の推進は、第6期科学技術・イノベーション基本計画の取組みとして掲げており、特定の地方自治体や民間等に委ねることなく、CSTI主導で分野選定を行い、我が国の資金配分機関と先進国の資金配分機関との国際共同研究を強力に推進するものであるため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国際的な研究ネットワークの構築と人材育成の推進は、我が国の研究力の低下に歯止めをかけ、国際競争力を高める優先度の高い事業である。また、先進国のトップ研究者との共同研究である本事業は従来の事業にはなく、必要かつ適切な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	

外部有識者の所見	
行政事業レビュー推進チームの所見	
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
備考	
関連する過去のレビューシートの事業番号	

令和3年度			
-------	--	--	--

<p>資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)</p>	<p>※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 50%; margin: 0 auto; padding: 5px;">国(内閣府)</div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 10%; text-align: center; padding: 2px;">移し替え</div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 50%; margin: 0 auto; padding: 5px;">各省庁</div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 10%; text-align: center; padding: 2px;">補助金等</div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 50%; margin: 0 auto; padding: 5px;">資金配分機関</div> </div>
--	--